

## 福島大の磐梯朝日遷移プロジェクト

### 調査で新説

# 猪苗代湖5万年前に形成

## 湖底のボーリングで判明

福島大の教授でつくる磐梯朝日遷移プロジェクトによる調査で、猪苗代湖が形成された年代が約五万年前とみられることが分かった。これまでは約四万二千年前とされていた。二日に福島大で行われた会見でプロジェクト代表の塘忠顕（つづみ・ただあき）教授が明らかにした。

調査によると、猪苗代湖は約五万年前に発生した翁島岩屑雪崩の堆積物により、河谷がせき止められたことが

採取した堆積物をプロジェクトの長橋良隆教授が分析した結果、約四万二千年から四万四千年前に北海道で発生した噴火の火山灰と同じ成分が検出された。火山灰の見つかった層の深さから湖の形成時期を割り出した。塘教授は「猪苗代湖の形成史が明らかになることは、今後、周辺

を含む環境変化の予測や火山防災の研究などにも生かすことができる」と成果を強調した。

磐梯朝日遷移プロジェクトは文部科学省の



福島民報社が発刊する「裏磐梯・猪苗代地域の環境学」をPRする塘教授

支援を受け、平成二十四年にスタートした。これまでに延べ十六人の研究者が猪苗代湖、磐梯山周辺の自然環境をさまざまな視点から調査してきた。十三日午前九時三十五分から猪苗代町体験交流館学びいなかで研究成果報告会を開く。入場無料で誰でも参加できる。

## 4年間の研究成果一冊に

## 民報社、10日に書籍発行

福島民報社は十日、磐梯朝日遷移プロジェクトの研究内容をまとめた「裏磐梯・猪苗代地域の環境学」を発刊する。A4判、二百六十二ページで価格は三千円（税抜き）。

問い合わせは福島民報社出版部 電話024(531)4182へ。